

ふるさと歴史散歩

〔第154回〕 長福寺(禅宗・曹洞宗)その一



多家神社(埃宮)の東側奥にこんもりと茂る丘陵がある。この森の南側一角の開けた所に長福寺がある。長福寺は、天龍山と号する禅宗・曹洞宗(国泰寺末寺)の寺で、町内では道隆寺に次いで古く、由緒ある名刹の一つである。

菅原守「藝州府中荘誌」によれば、万寿2年(1025年)藤原道長の全盛時代に田所氏の始祖資遠が先祖を供養するため開基し、代々田所氏の菩提寺であったが、戦国時代の応永年間(1394年~1428年)には西遷した東国武士白井氏が近くの出張城を居城とし、長福寺の破れた伽藍を修理して菩提寺とし墓地も山腹に造られた。今なお残る風化した五輪塔は白井氏のものと言われている。しかし白井氏が周防に去った後堂宇は荒れるがまま放任された。江戸時代に入り寛永16年

(1639年)香林和尚が再建したが、明和元年(1764年)火災に遭い消失した。その後、広島藩主6代目の浅野宗恒公の命に依り、智外和尚が再建した。この智外和尚は長福寺中興の祖と後世言われた傑出した三河国出身の名僧であった。10歳で得度し、各地の高僧について刻苦勉強に励んで悟道に入り、各地を遍歴して教化に努めて学徳兼備の名僧となった。そして藩主宗恒公の招きで初めは広島の国泰寺の座主となった。18年の歳月が流れた天明7年(1787年)、国泰寺の座主を退き、藩主の許可を得て、府中村の長福寺を再興して住職となり村人を布教して教化に努め往生した。

藩主の宗恒公と奥方夫妻は特に、禅宗曹洞宗に帰依し、数々の奉納品が寺宝として目録に残る。藩公は晩年仏門に入り、僧形木造御夫妻像を彫

刻し、境外の山上の景勝地に僧形堂を建て、中央に修善塔という石塔の下に安置したという。その後、当寺において度々法要が行われたが、僧形堂は明治24年に倒れそのままとなった。古い図面を見ると、本堂の脇に禅堂があったが現在では建て替えられてない。昭和5年5月、広島藩最後の藩主であった侯爵浅野長勲公がこの事を思い出し、86歳の高齢にもかかわらず親しく参詣した記録が残る。



長福寺

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭

消費生活相談

電気通信サービスの契約は慎重に！

相談内容



大手通信事業者の代理店を名乗る業者から「ネット料金が安くなる」と光回線の変更を勧誘する電話があった。現在より月額1000円程安くなると言われたので「良いですね」と答えると電話が切れた。これだけで契約成立になるのか。(40代 男性)

アドバイス



契約は口頭でも成立するので、この場合、相手から契約成立を主張される可能性がります。しかし、契約内容が複雑でトラブルの多い光回線契約等は、この度、法律により事業者が契約後の書面交付が義務付けられました。また、契約から一定期間内であれば解約できる「初期契約解除制度」も導入されました。このことを踏まえ、相談者には、契約が初期契約解除制度の対象サービスである場合、原則、書面受領日を初日として8日が経過するまでの間であれ

消費生活相談員による
相談窓口

町民生活課(役場4階)
☎286-3128
月~金曜日
午前9時~正午
午後1時~4時

ば、違約金なしで電気通信サービスの契約解除ができることを説明し、解約の意思がある場合は早急に事業者申し出るよう、また、今後事業者より遠隔操作、転用承諾番号取得などの手続きを求められても応じないよう助言しました。(ただし、契約解除までの期間のサービス利用料・工事費・事務手数料は発生します)

契約をする際は、契約内容の説明をしっかり受け、納得した上で契約書にサインしましょう。疑問や気になる点がある場合は、早めに契約先の事業者へ申し出るようにしてください。

